(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2018年11月1日(01.11.2018)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2018/198653 A1

(51) 国際特許分類:
B65D 85/10 (2006.01) *B65D 77/04* (2006.01)
B65D 75/52 (2006.01)

(21) 国際出願番号： PCT/JP2018/012914

(22) 国際出願日： 2018年3月28日(28.03.2018)

(25) 国際出願の言語： 日本語

(26) 国際公開の言語： 日本語

(30) 優先権データ：
特願 2017-090101 2017年4月28日(28.04.2017) JP

(71) 出願人: 日本たばこ産業株式会社 (**JAPAN TOBACCO INC.**) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目２番１号 Tokyo (JP).

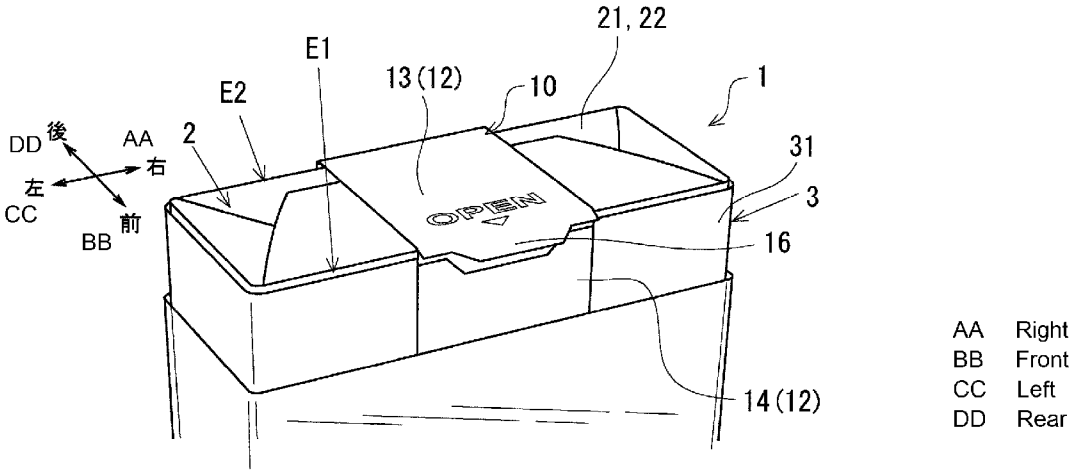
(72) 発明者: 安里 将 (**ASATO, Sho**); 〒1308603 東京都墨田区横川一丁目１７番７号 日本たばこ産業株式会社内 Tokyo (JP). 安田 沙紀 (**YASUDA, Saki**); 〒1108560 東京都台東区台東一丁目５番１号 凸版印刷株式会社内 Tokyo (JP). 田中 由晃 (**TANAKA, Yoshiaki**); 〒1080023 東京都港区芝浦三丁目１９番２６号 株式会社トッパンＴＤＫレーベル内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 丹羽 武司, 外 (**NIWA, Takeshi** et al.); 〒1030004 東京都中央区東日本橋３丁目４番１０号 アクロポリス２１ビル８階 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,

(54) **Title:** DOUBLE SEALING SEAL AND PACKAGE

(54) 発明の名称： ２重封緘シールおよびパッケージ



(57) **Abstract:** Provided are: a double sealing seal in which a lower seal portion is more easily released from an upper seal portion, compared to the prior art; and a package provided with the same. The package is provided with a packaging part for packaging an object to be packaged, and a double sealing seal attached to the packaging part. The double sealing seal comprises: a lower sealing seal part which adheres to the packaging part; a first upper seal part which is layered on the lower sealing seal part and which adheres to the lower sealing seal part; and a tab to be held which is provided to the first upper seal part.

WO 2018/198653 A1

［続葉有］

SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告(条約第21条(3))

(57) 要約:従来に比べて下層シール部から上層シール部を剥離し易い2重封緘シールおよびそれを備えたパッケージを提供する。パッケージは、包装対象物を包装する包装部と、包装部に取り付けられた2重封緘シールと、を備え、2重封緘シールは、包装部に接着される下層封緘シール部と、下層封緘シール部上に積層されると共に下層封緘シール部に接着される第1上層シール部と、第1上層シール部に設けられた摘み用タブと、を有する。

明　細　書

発明の名称 ： ２重封緘シールおよびパッケージ

技術分野

[0001] 本発明は、２重封緘シールおよびパッケージに関する。

背景技術

[0002] シガレット等のたばこ商品は、通常、所定の本数毎に包装体に包装されている。このような包装体として、アルミ箔加工紙等の内包紙と、この内包紙を覆う外包紙によって形成されたものがよく知られており、所謂個装と呼ばれている。外包紙として、ソフトパック又はソフトパッケージと呼ばれる薄紙で形成されたものや、ハードパック、ハードパッケージ又はボックスと呼ばれる、板紙を箱型に組み立てて形成されたものが知られている。

[0003] 通常、シガレットのソフトパッケージは、複数本のシガレットを内包紙により包装し、更にこの内包紙の側面および底面を外包紙で包装している。そして、内包紙を互いに折り込んで形成した口折り部と外包紙との一部を跨ぐように封緘紙が糊付けされている。シガレットを取り出す場合には、封緘紙の両側に形成された口折り部のどちらか一方の内包紙を欠切し、取り出し口（開口部）を形成することでシガレットを取り出すことができる。

[0004] ここで、封緘紙を２重に積層したソフトパッケージが知られている（例えば、特許文献１を参照）。特許文献１に示されるパッケージは、口折り部と外包紙との一部を跨ぐように糊付けされた第１の封緘紙上に第２の封かん紙が積層されており、着離性を有する粘着剤によって第２の封緘紙が第１の封かん紙に対して着離可能に糊付けされている。このパッケージによれば、口折り部との一部にシガレットの取り出しのための開口部を形成した後、第１の封かん紙上に着離可能に糊付けされている第２の封かん紙を剥ぎ取り、この第２の封かん紙で開口部を覆うことができ、開口部からのシガレットの脱落や、パッケージ内のシガレットの防湿および香料の気散防止等を図ることができる。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特開平７－２０３９３８号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] しかしながら、従来における２重封緘紙（シール）は、下層部分から上層部分を剥ぎ取り難いという課題があった。

[0007] 本発明は、このような実情に鑑みてなされたものであって、従来に比べて下層シール部から上層シール部を剥離し易い２重封緘シールおよびそれを備えたパッケージを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0008] 本発明では、上記課題を解決するために、包装部に取り付けられた２重封緘シールの上層シール部に、包装部に接着される下層封緘シール部から上層シール部を剥離する際に摘むための摘み用タブを設けるようにした。

[0009] より詳しくは、本発明に係るパッケージは、包装対象物を包装する包装部と、前記包装部に取り付けられた２重封緘シールと、を備え、前記２重封緘シールは、前記包装部に接着される下層封緘シール部と、前記下層封緘シール部上に積層されると共に当該下層封緘シール部に接着される上層シール部と、前記上層シール部に設けられた摘み用タブと、を有することを特徴とする。

[0010] また、本発明は、包装対象物を包装する包装部に取り付けられる２重封緘シールであって、前記包装部に接着される下層封緘シール部と、前記下層封緘シール部上に積層されると共に当該下層封緘シール部に接着される上層シール部と、前記上層シール部に設けられた摘み用タブと、を有することを特徴とする。

[0011] 本発明によれば、２重封緘シールの上層シール部に摘み用タブを設けるようにしたので、摘み用タブを起点として、包装部に接着される下層封緘シー

ル部から上層シール部を容易に剥離することができる。

[0012] また、本発明に係る２重封緘シールにおいて、前記摘み用タブは直線状の摘み用縁部を有していても良い。

[0013] また、本発明に係る２重封緘シールにおいて、前記摘み用タブは台形状を有していても良い。

[0014] また、本発明に係るパッケージにおいて、前記包装部は箱形状を有すると共に、互いに直交する第１面と第２面とを含んで構成されており、前記下層封緘シール部は、前記第１面に接着される下層第１領域と前記第２面に接着される下層第２領域とを有する帯体であると共に、前記第１面および前記第２面に跨るようにして前記包装部に接着され、前記上層シール部は、前記下層第１領域に積層される上層第１領域と前記下層第２領域に積層される上層第２領域とを有し、前記上層第２領域は、前記第１面および前記第２面の間に位置する第１縁部を境に前記下層第２領域に沿うように前記上層第１領域から直交方向に折り曲げられており、前記摘み用タブは、前記上層第２領域の先端側から前記第１縁部と逆方向に向かって突設されていても良い。

[0015] また、２重封緘シールにおいて、前記摘み用タブは、前記第１縁部に近設されていても良い。その場合、前記第１上層シール部において前記摘み用タブの根元に形成される直線状のタブ基端縁部と前記第１縁部とが離間する第１離間距離は、０ｍｍ以上４ｍｍ以下の範囲に設定されていても良い。また、前記摘み用タブの先端側に形成された直線状の摘み用縁部と前記タブ基端縁部とが離間する第２離間距離は、１ｍｍ以上３ｍｍ以下の範囲に設定されていても良い。

[0016] また、２重封緘シールにおいて、前記上層シール部における前記上層第２領域は、前記下層封緘シール部における前記下層第２領域の一部を覆い、前記下層第２領域のうち、前記上層第２領域によって覆われていない非被覆領域の少なくとも一部には、前記摘み用タブが形成されている前記上層シール部の先端部に隣接するように第２上層シール部が前記下層第２領域に接着されており、前記上層第２領域の前記摘み用タブは前記下層第２領域に対して

非接着状態であると共に、前記摘み用タブと前記第２上層シール部とが易切断部を介して局所的に連結されており、前記摘み用タブを介して前記上層シール部が前記下層封緘シール部から剥離される際に、前記易切断部が切断されることによって前記第２上層シール部が前記下層封緘シール部と接着された状態に維持されても良い。

[0017] ここで、２重封緘シールにおいて、前記易切断部は、前記第１縁部に対して斜め方向又は垂直方向に沿って延在していても良い。

[0018] また、２重封緘シールにおいて、前記摘み用タブは台形状を有し、前記第２上層シール部における前記上層シール部の先端側との境界部には、前記摘み用タブを収容する台形状の凹部が形成されており、前記易切断部は、前記摘み用タブの斜辺と当該他部の斜辺と対向する前記凹部側の斜辺を局所的に連結していても良い。

[0019] また、２重封緘シールにおいて、前記第２上層シール部は、前記下層第２領域における前記非被覆領域の全体を覆うように当該前記非被覆領域に積層されていても良い。

[0020] また、２重封緘シールにおいて、前記包装部は、前記第１面と直交すると共に前記第２面と平行な第３面を含み、前記下層封緘シール部は、前記第３面に接着される下層第３領域を更に有すると共に、前記第１面、前記第２面および前記第３面に跨るようにして前記包装部に接着され、前記上層シール部は、前記下層第３領域に積層される上層第３領域を更に有し、前記上層第３領域に、スリットが設けられていても良い。

[0021] また、２重封緘シールにおいて、前記上層第３領域における前記スリットは、前記第１面および前記第３面の間に位置する第２縁部と平行に延設されていても良い。

[0022] また、２重封緘シールにおいて、前記上層第３領域における前記スリットは、前記第２縁部に近設されていても良い。

[0023] また、本発明に係るパッケージにおいて、前記包装部は外装フィルムによって密封されており、前記外装フィルムには、前記包装部を周回するように

当該包装部に巻き掛けられた開封テープが設けられており、前記開封テープよりも上方に前記摘み用タブが配置されていても良い。

[0024] また、本発明に係るパッケージにおいて、前記包装部にたばこ商品が包装されていても良い。

[0025] なお、本発明における課題を解決するための手段は、可能な限り組み合わせて採用することができる。

発明の効果

[0026] 本発明によれば、従来に比べて下層シール部から上層シール部を剥離し易い２重封緘シールおよびそれを備えたパッケージを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0027] [図1]図１は、実施形態１に係るパッケージの概略構成図である。

[図2]図２は、実施形態１に係るパッケージの概略構成図である。

[図3]図３は、実施形態１に係るパッケージを開封した状態を示す図である。

[図4]図４は、実施形態１に係る封緘シールの分解図である。

[図5]図５は、実施形態１に係る封緘シールの上層シール部の上面図である。

[図6]図６は、実施形態１に係る封緘シールの第１上層シール部の裏面を示す図である。

[図7A]図７Ａは、実施形態１に係る封緘シールにおける下層封緘シール部から第１上層シール部をめくり取っている状況を示す図である。

[図7B]図７Ｂは、実施形態１に係る封緘シールにおける下層封緘シール部から第１上層シール部をめくり取っている状況を示す図である。

[図8A]図８Ａは、摘み用タブの両側にタブ基端縁部を形成する仕様の封緘シールを形成するためのシート材を示す図である。

[図8B]図８Ｂは、摘み用タブの両側にタブ基端縁部を形成しない仕様の封緘シールを形成するためのシート材を示す図である。

[図9A]図９Ａは、封緘シールにおける摘み用タブの変形例を示す。

[図9B]図９Ｂは、封緘シールにおける摘み用タブの変形例を示す。

[図9C]図９Ｃは、封緘シールにおける摘み用タブの変形例を示す。

発明を実施するための形態

[0028] ここで、本発明に係る２重封緘シールおよびパッケージの実施形態について、図面に基づいて説明する。また、本実施形態に記載されている構成要素の寸法、材質、形状、その相対配置等は、特に特定的な記載がない限りは、発明の技術的範囲をそれらのみに限定する趣旨のものではない。

[0029] ＜実施形態１＞

図１および図２は、実施形態１に係るパッケージ１の概略構成図である。図１は、パッケージ１の正面側の外観斜視図である。図２は、パッケージ１の背面側の外観斜視図である。パッケージ１は、複数のシガレットを包装する箱形状を有する包装体である。パッケージ１は、シガレットを直接的に包んでいる内包箱２と、この内包箱２の上閉塞面２１を除いて内包箱２を包み込む外包箱３を含んで形成されたものであり、所謂ソフトパッケージ又はソフトパックと呼ばれている。

[0030] 内包箱２は、例えば外面がアルミ箔でコーティングされた内包紙からなり、その底面および上閉塞面２１は、内包紙を折り込むことで口折り部２２を形成している。外包箱３は、その外面に模様や商品名等が印刷された外包紙からなり、内包箱２の上閉塞面２１を露出させた状態で、内包箱２の側面および底面を覆うように内包箱２を包装している。外包箱３の底面も、内包箱２の上閉塞面２１と同様、外包紙の一部を折り込むことで口折り部２２を形成している。ここで、符号３１は外包箱３の前面を示し、符号３２は外包箱３の後面を示す。また、符号３３ａは外包箱３の左側面を示し、符号３３ｂは外包箱３の右側面を示す。外包箱３の前面３１および後面３２は互いに平行であり、それぞれ内包箱２の上閉塞面２１に対して直交している。本実施形態においては、内包箱２の上閉塞面２１、外包箱３の前面３１、外包箱３の後面３２が、それぞれ本発明に係る第１面、第２面、第３面に相当する。また、本実施形態における内包箱２および外包箱３が本発明における包装部に相当する。以下、本明細書において、パッケージ１の正面側を”前方”と定義し、背面側を”後方”と定義する。また、パッケージ１の上下前後左右の各

方向を、図１に示すように定義する。パッケージ１の左右方向を「幅方向」と呼び、上下方向を「高さ方向」と呼ぶ。図１および図２に、上下前後左右の各方向を図示する。

[0031] 図１および図２に示すように、パッケージ１は、未開封時には外装フィルム４によって全体が覆われていることで密封されている。外装フィルム４は、例えばポリプロピレン、セロファン、ポリエチレンテレフタレート等の材料からなる透明フィルムであっても良い。外装フィルム４には、開封テープ（「テアテープ」とも呼ばれる）５が設けられている。開封テープ５は、パッケージ１の一周面に沿って周回するように巻き掛けられた帯部材であり、外装フィルム４の裏面（内面）側に貼り付けられている。開封テープ５は、パッケージ１の開封時に使用者（喫煙者）によって先端部（図示せず）が引っ張られることにより、外装フィルム４を引き裂いて開封するために用いられる。符号４ａは、外装フィルム４のうち、開封テープ５よりも上側、すなわち上閉塞面２１（口折り部２２）に対して近接する上側部分である。図３は、パッケージ１を開封した状態を示す図である。図３に、開封テープ５を起点として外装フィルム４を引き裂き、外装フィルム４の上側部分４ａを取り除いた状態を示す。図３に示す状態では、パッケージ１における内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）が外部に露出している。

[0032] 図１乃至３に示す符号１０は、封緘シールである。封緘シール１０は、帯形状を有し、内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）、外包箱３の前面３１および後面３２に跨るようにして接着されている。封緘シール１０は、内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）の幅方向中央を横切り、その両端が外包箱３の前面３１および後面３２に向けて垂直に折り曲げられている。封緘シール１０は、パッケージ１の上閉塞面２１（口折り部２２）を封緘している。

[0033] パッケージ１からシガレットを取り出すには、図３に示すように外装フィルム４を開封した後、内包箱２の上閉塞面２１に形成された口折り部２２のうち、封緘シール１０を残して、口折り部２２の片側を切り取って、シガレ

ットの取り出し口を形成する。これにより、パッケージ１における内包箱２に包装されていたシガレットが取り出し口から露出するようになり、シガレットを取り出すことができるようになる。

[0034] 本実施形態における封緘シール１０は、紙製の封緘シールが２重に積層された２重封緘シールである。以下、封緘シール１０の詳細構造について説明する。図４は、実施形態１に係る封緘シール１０の分解図である。封緘シール１０は、パッケージ１に接着される下層封緘シール部１１と、下層封緘シール部１１上に積層されると共に当該下層封緘シール部に接着される上層シール部１２を有する。上層シール部１２は、第１上層シール部１３および第２上層シール部１４を含む。

[0035] 図４に示すように、下層封緘シール部１１は矩形状を有する帯体であり、破線は折り込み位置を示している。図４に示す符号ＬＢ１は、外包箱３の前面３１と内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）との境界に位置する第１縁部Ｅ１において折り込まれる第１折り込み線である。符号ＬＢ２は、外包箱３の後面３２と内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）との境界に位置する第２縁部Ｅ２において折り込まれる第２折り込み線である。

[0036] 以下、下層封緘シール部１１のうち、第１折り込み線ＬＢ１と第２折り込み線ＬＢ２の間の矩形領域を下層第１領域１１１と呼び、一方の短辺ＳＳ１と第１折り込み線ＬＢ１の間の矩形領域を下層第２領域１１２と呼び、第２折り込み線ＬＢ２と他方の短辺ＳＳ２の間の矩形領域を下層第３領域１１３と呼ぶ。下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２は、外包箱３の前面３１に接着され、下層第１領域１１１は内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）に接着され、下層第３領域１１３は外包箱３の後面３２に接着される。すなわち、図３に示すように、下層封緘シール部１１は、外包箱３の前面３１、内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）、および外包箱３の後面３２に跨るようにしてパッケージ１に接着されている。

[0037] 次に、封緘シール１０の上層シール部１２の詳細について説明する。図４に示すように、上層シール部１２（第１上層シール部１３および第２上層シ

ール部１４の組み合わせ）は、全体として下層封緘シール部１１と実質的に合同形状となる。図５は、実施形態１に係る封緘シール１０の上層シール部１２の上面図である。符号１３ａは、第１上層シール部１３の上面を示す。符号１４ａは、第２上層シール部１４の上面を示す。上層シール部１２は、全体で矩形状を有する紙製の帯体であり、破線は折り込み位置を示している。第１上層シール部１３において、図５に示す符号ＬＵ１は、パッケージ１の第１縁部Ｅ１において折り込まれる第１折り込み線である。符号ＬＵ２は、パッケージ１の第２縁部Ｅ２において折り込まれる第２折り込み線である。以下、第１上層シール部１３のうち、第１折り込み線ＬＵ１と第２折り込み線ＬＵ２の間の矩形領域を上層第１領域１３１と呼び、第１上層シール部１３における第２上層シール部１４との境界部ＢＤと第１折り込み線ＬＵ１の間の領域を上層第２領域１３２と呼び、第２折り込み線ＬＵ２と短辺ＳＳ３の間の矩形領域を上層第３領域１３３と呼ぶ。

[0038] ここで、上層シール部１２における第１上層シール部１３と第２上層シール部１４は、図５の拡大図に示されるように易切断部１５を介して局所的に連結されている。易切断部１５は、所謂ニック止めとも呼ばれ、外力によって切断（破断）されることで第１上層シール部１３と第２上層シール部１４を分離することができる。第１上層シール部１３および第２上層シール部１４の境界部ＢＤには、易切断部１５が形成される部位を除いてスリットＳＬが形成されている。

[0039] ここで、第１上層シール部１３における第１折り込み線ＬＵ１と第２折り込み線ＬＵ２との離間寸法（上層第１領域１３１の長さ寸法）は、下層封緘シール部１１における第１折り込み線ＬＢ１と第２折り込み線ＬＢ２との離間寸法（下層第１領域１１１の長さ寸法）と等しく、パッケージ１（上閉塞面２１）の奥行寸法に一致する。但し、紙の厚さの関係上、第１上層シール部１３は、下層封緘シール部１１に比べて多少の余裕をもって折り込まれることもあるため、第１上層シール部１３における第１折り込み線ＬＵ１と第２折り込み線ＬＵ２との離間寸法（上層第１領域１３１の長さ寸法）が、下

層封緘シール部１１における第１折り込み線ＬＢ１と第２折り込み線ＬＢ２との離間寸法（下層第１領域１１１の長さ寸法）よりも若干大きく設定される場合もある。そして、第１上層シール部１３における上層第１領域１３１は、下層封緘シール部１１の下層第１領域１１１上に積層されると共に当該下層第１領域１１１に糊付け（接着）される。また、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２は、下層封緘シール部１１における下層第２領域１１２上に積層されると共に当該下層第２領域１１２に糊付けされる。また、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３は、下層封緘シール部１１における下層第３領域１１３上に積層されると共に当該下層第３領域１１３に糊付けされる。

[0040] ここで、第１上層シール部１３における境界部ＢＤと第１折り込み線ＬＵ１との離間寸法（上層第２領域１３２の長さ寸法）は、下層封緘シール部１１における短辺ＳＳ１と第１折り込み線ＬＢ１との離間寸法（下層第２領域１１２の長さ寸法）に比べて小さい。そのため、第１上層シール部１３の上層第２領域１３２は、下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２の一部を覆うようにして、下層第２領域１１２に接着される。本実施形態では、下層封緘シール部１１における下層第２領域１１２のうち、第１上層シール部１３の上層第２領域１３２によって覆われていない非被覆領域の少なくとも一部を第２上層シール部１４が覆うようにして下層第２領域１１２に接着される。図４に示す例では、下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２における非被覆領域の全体（全部）を第２上層シール部１４が覆うようにして積層されている。なお、第１上層シール部１３における短辺ＳＳ３と第２折り込み線ＬＵ２との離間寸法（上層第３領域１３３の長さ寸法）は、下層封緘シール部１１における短辺ＳＳ２と第２折り込み線ＬＢ２との離間寸法（下層第３領域１１３の長さ寸法）と等しい。但し、紙の厚さの関係上、第１上層シール部１３は、下層封緘シール部１１に比べて多少の余裕をもって折り込まれることもあるため、ＳＳ３と第２折り込み線ＬＵ２との離間寸法（上層第３領域１３３の長さ寸法）は、下層封緘シール部１１における短辺ＳＳ２

と第２折り込み線ＬＢ２との離間寸法（下層第３領域１１３の長さ寸法）よりも若干大きく設定される場合もある。

[0041] ここで、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２のうち、第２上層シール部１４との境界部ＢＤ側に位置する先端部には、摘み用タブ１６が設けられている。摘み用タブ１６は、下層封緘シール部１１から上層シール部１２（第１上層シール部１３）を使用者（喫煙者）が剥離する際に摘み易いように他の部位よりも突出した摘みである。摘み用タブ１６は、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２の先端部から、第１折り込み線ＬＵ１と逆方向（反対側）に向かって突設されている。また、摘み用タブ１６は台形状を有しており、タブ上辺１６１、タブ第１斜辺１６２、タブ第２斜辺１６３によって、その形状が画定されている。摘み用タブ１６のタブ上辺１６１は、第１折り込み線ＬＵ１と平行であり、タブ第１斜辺１６２およびタブ第２斜辺１６３はタブ上辺１６１に対して傾斜している。図５に示すように、上層シール部１２は、第１上層シール部１３の摘み用タブ１６が、易切断部１５を介して第２上層シール部１４と局所的に連結されている。

[0042] ここで、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２と第２上層シール部１４との関係を詳しく説明すると、第２上層シール部１４における境界部ＢＤ側には、摘み用タブ１６を受け入れる台形状の凹部１７が形成されている。凹部１７は、凹部上辺１７１、凹部第１斜辺１７２、凹部第２斜辺１７３によって、その形状が画定されている。凹部１７の凹部上辺１７１、凹部第１斜辺１７２、凹部第２斜辺１７３は、摘み用タブ１６のタブ上辺１６１、タブ第１斜辺１６２、タブ第２斜辺１６３にそれぞれ対向して配置されている。そして、易切断部１５は、摘み用タブ１６のタブ第１斜辺１６２およびタブ第２斜辺１６３とこれらに対向する凹部１７側の凹部第１斜辺１７２および凹部第２斜辺１７３を局所的に連結している。また、図５に示すように、易切断部１５は、第１上層シール部１３における第１折り込み線ＬＵ１に対して斜め方向に沿って延在している。なお、本実施形態においては、摘み用タブ１６のタブ第１斜辺１６２およびタブ第２斜辺１６３にそれぞ

れ易切断部１５が１つずつ設けられているが、その数は特に限定されない。例えば、タブ第１斜辺１６２およびタブ第２斜辺１６３のそれぞれに、複数個の易切断部１５が設けられていても良い。また、タブ第１斜辺１６２およびタブ第２斜辺１６３の何れか一方のみに易切断部１５が設けられていても良い。また、本実施形態では、第１上層シール部１３および第２上層シール部１４の境界部ＢＤのうち、スリットＳＬ同士に挟まれる領域を易切断部１５として形成しているが、境界部ＢＤに沿ってハーフカット加工を施すことで易切断部１５を形成しても良い。

[0043] 次に、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３の詳細について説明する。上層第３領域１３３には、第２折り込み線ＬＵ２の近傍に一対のスリット１８ａ，１８ｂが設けられている。スリット１８ａ，１８ｂは、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３を厚さ方向に貫通している。スリット１８ａ，１８ｂは、第２折り込み線ＬＵ２と平行に延設されている。本実施形態では、上層第３領域１３３に２つのスリット１８ａ，１８ｂを設けているが、当該スリットの数は特に限定されない。

[0044] 図４に示す符号ＢＰは、下層封緘シール部１１に対する上層シール部１２（第１上層シール部１３、第２上層シール部１４）の糊付け部位を示している。本実施形態における封緘シール１０は、接着糊をポイント止めすることで、下層封緘シール部１１に対して上層シール部１２（第１上層シール部１３、第２上層シール部１４）を剥離可能に接着している。図４に示す例では、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２の摘み用タブ１６が下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２に対して非接着状態となっている。

[0045] 図６は、実施形態１に係る封緘シール１０の第１上層シール部１３の裏面１３ｂを示す図である。第１上層シール部１３の裏面１３ｂは、下層封緘シール部１１の上面に接着される接着面である。第１上層シール部１３の裏面１３ｂには、例えば、キャンペーンに関する情報や、キャンペーンサイトにアクセスするためのＵＲＬや電子メールアドレスの情報をコード化した情報

コード（図示せず）が印刷されている。情報コードは、第１上層シール部１３のうち、最も面積が大きい上層第１領域１３１に対応する裏面１３ｂに印刷することが好ましい。情報コードは、例えば２次元コードの一種であるＱＲコード（登録商標）であっても良い。また、２次元コードの代わりに、１次元バーコードを第１上層シール部１３の裏面１３ｂに印刷しても良い。

[0046] 以上のように構成されるパッケージ１においては、外装フィルム４における開封テープ５の上側部分４ａが取り除かれることで、図３に示すようにパッケージ１の封緘シール１０および上閉塞面２１（口折り部２２）が露出する。図３に示すように、封緘シール１０（下層封緘シール部１１）は、外包箱３の前面３１、内包箱２の上閉塞面２１（口折り部２２）、および外包箱３の後面３２に跨るようにして接着されている。本実施形態におけるパッケージ１の封緘シール１０によれば、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２の先端部に摘み用タブ１６が設けられているため、使用者（喫煙者）は摘み用タブ１６を摘み、引っ張り上げることで、図７Ａ、図７Ｂに示すように下層封緘シール部１１から第１上層シール部１３を容易に剥離することができる。また、本実施形態における封緘シール１０を備えたパッケージ１は、現行のパッケージ包装機をカスタマイズするだけで製造することが可能であり、巨額の機械設備投資を掛けずに、製品情報を付加することのできるツールとして有用性が高い。また、通常の封緘シールを本実施形態に係る封緘シール１０に置き換えることでパッケージ１を製造することができるため、包装機によるパッケージ１の製造効率が低下することも抑制することができる。

[0047] その際、第１上層シール部１３における摘み用タブ１６は、タブ上辺１６１によって直線状の摘み用縁部Ｅ３が形成されているため、使用者（喫煙者）の指が摘み用タブ１６（摘み用縁部Ｅ３）により一層引っ掛かり易くなり、下層封緘シール部１１から第１上層シール部１３をより簡単に剥離できるようになる。上記のような直線状の摘み用縁部Ｅ３を有する摘み用タブ１６の形状として、台形状を好適に挙げることができる。なお、第１上層シール

部１３の上層第２領域１３２における第２上層シール部１４との境界部ＢＤにおいて、摘み用タブ１６の両側に位置する縁部、すなわち摘み用タブ１６の付け根に位置する縁部を「タブ基端縁部Ｅ４」と呼ぶ。摘み用縁部Ｅ３およびタブ基端縁部Ｅ４は、第１上層シール部１３における第１折り込み線ＬＵ１および第１縁部Ｅ１に平行である。

[0048] また、本実施形態によれば、下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２は、第１縁部Ｅ１を境に下層第１領域１１１から直交方向に折り曲げられて外包箱３の前面３１に接着されている。また、第１上層シール部１３の上層第２領域１３２は、第１縁部Ｅ１を境として下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２に沿うように上層第１領域１３１から直交方向に折り込まれている。このように、第１上層シール部１３の上層第２領域１３２が、上層第１領域１３１から直交方向に折り込まれることで、第１上層シール部１３の上層第２領域１３２を下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２から剥離する方向に復元力が作用させることができる。その際、摘み用タブ１６は、第１上層シール部１３における上層第２領域１３２の先端部から、第１縁部Ｅ１と逆方向（反対側）に向かって突設されている。そのため、第１上層シール部１３の摘み用タブ１６を摘んでめくり上げる方向と、第１上層シール部１３の上層第２領域１３２に作用する復元力の方向とが一致し、より一層容易に下層封緘シール部１１から第１上層シール部１３を剥離することができる。

[0049] 特に、本実施形態によれば、摘み用タブ１６が、パッケージ１の第１縁部Ｅ１に近設されている。そのため、摘み用タブ１６をめくり上げる方向に作用する上層第２領域１３２の復元力をより一層大きくすることができる。ここで、摘み用タブ１６の付け根の部分、すなわちタブ基端縁部Ｅ４と第１縁部Ｅ１（第１折り込み線ＬＵ１）との離間寸法距離（以下、「第１離間距離」という）Ｄ１（図５を参照）は、０ｍｍ以上４ｍｍ以下の範囲とすることが好ましく、０ｍｍ以上３ｍｍ以下の範囲とするとより好ましく、０ｍｍ以上２ｍｍ以下の範囲とすると特に好ましい。なお、第１離間距離Ｄ１が４ｍ

ｍを超えてしまうと、第１上層シール部１３をめくり易くするための、紙の反発力が十分に得られない虞がある。そして、第１離間距離Ｄ１を４ｍｍ以下とすることで第１上層シール部１３の上層第２領域１３２において好ましい反発力が得られ、第１離間距離Ｄ１を３ｍｍ以下とすることで、より好ましい反発力が得られる。また、第１離間距離Ｄ１を２ｍｍ以下とすることで、第１上層シール部１３をめくるに当たって最適な状態となる。摘み用タブ１６の付け根に位置するタブ基端縁部Ｅ４および第１縁部Ｅ１（第１折り込み線ＬＵ１）間の第１離間距離Ｄ１を上記範囲に調節することで、下層封緘シール部１１の下層第２領域１１２から第１上層シール部１３の上層第２領域１３２を剥離する方向に作用する復元力の大きさを十分に得ることができ、第１上層シール部１３の剥ぎ取り易さを向上させることができる。

[0050] 次に、易切断部１５のニック部分の長さ（以下、「ニック長さ」という）Ｌ１（図５の部分拡大図を参照）の好ましい範囲について言及すると、ニック長さＬ１が０．３ｍｍを下回ると製造途中でニック部分が切れてしまう虞があり、ニック長さＬ１が０．７ｍｍを超えてしまうとパッケージ１の製造後においてユーザがパッケージ１を摘んだ際に、所望しない部分(ニック以外の部分)で紙が切れてしまう虞がある。そこで、ニック長さＬ１は０．３～０．７ｍｍの範囲に設定すると好ましく、０．５ｍｍとすると最適である。また、摘み用タブ１６における摘み用縁部Ｅ３とタブ基端縁部Ｅ４との離間距離（以下、「第２離間距離」という）Ｄ２（図５の部分拡大図を参照）は３ｍｍを超えると紙の反発力が強くなりタブが勝手に捲れてしまう虞があり、１ｍｍを下回ると摘み用タブ１６が摘みにくくなる虞がある。そこで、第２離間距離Ｄ２は、１ｍｍ以上３ｍｍ以下の範囲とすることが好ましい。

[0051] ここで、摘み用タブ１６における摘み用縁部Ｅ３の幅（以下、「摘み用タブ先端幅」という）Ｌ２（図５の部分拡大図を参照）について言及すると、摘み用タブ先端幅Ｌ２は、摘み用縁部Ｅ３の摘み易さの観点から５ｍｍ以上の寸法に設定することが好ましい。

[0052] 次に、摘み用タブ１６におけるタブ基端縁部Ｅ４の幅（以下、「摘み用タ

ブ基端幅」という）Ｌ３（図５の部分拡大図を参照）について言及する。摘み用タブ１６の両側に形成される各タブ基端縁部Ｅ４の摘み用タブ基端幅Ｌ３は、封緘シール１０の製造上の精度誤差を許容する観点から、１ｍｍ以上の幅に設定することが好ましい。ここで、図８Ａは、摘み用タブ１６の両側にタブ基端縁部Ｅ４を形成する仕様の封緘シール１０を形成するためのシート材Ｓ１を示す図である。図８Ｂは、摘み用タブ１６の両側にタブ基端縁部Ｅ４を形成しない仕様の封緘シール１０を形成するためのシート材Ｓ２を示す図である。図８Ａ，８Ｂ中に示す符号ＣＬｐは、設計切断線を示し、符号ＣＬａは実際の切断位置を示す。シート材Ｓ１，Ｓ２は、製造工程において設計切断線ＣＬｐに沿って切断されることで、個々の封緘シール１０に分離される。

[0053] 図８Ａ、８Ｂには、シート材Ｓ１，Ｓ２から個々の封緘シール１０を切り出す際に、設計切断線ＣＬｐからずれた実際の切断位置ＣＬａに沿って切断されてしまった場合を示している。まず、図８Ａに示すシート材Ｓ１においては、摘み用タブ１６の両側にタブ基端縁部Ｅ４を形成することで、実際の切断位置ＣＬａが設計切断線ＣＬｐから多少ずれてしまったとしても、上述の摘み用タブ基端幅Ｌ３が多少設計値と相違するだけで目立たず、製造過程における封緘シール１０の切断位置の誤差が許容される。一方、図８Ｂに示すシート材Ｓ２においては、摘み用タブ１６の両側にタブ基端縁部Ｅ４が形成されず、摘み用タブ基端幅Ｌ３が零である。従って、実際の切断位置ＣＬａが設計切断線ＣＬｐからずれてしまうと、シート材Ｓ２から切り出した後の封緘シール１０において、封緘シール１０の幅方向における一端側と他端側の形状が相違してしまい、目立ってしまう。すなわち、製造過程における封緘シール１０の切断位置の誤差が許容されず、封緘シール１０を製品として使用できず、破棄せざるを得ない虞がある。なお、タブ基端縁部Ｅ４の摘み用タブ基端幅Ｌ３を大きくすることでのデメリットは特に無いが封緘シール１０の全幅寸法、摘み用タブ先端幅Ｌ２等との関係で決定すると良い。

[0054] また、摘み用タブ１６における摘み用縁部Ｅ３およびタブ基端縁部Ｅ４を

接続するタブ第１斜辺１６２（タブ第２斜辺１６３）と摘み用縁部Ｅ３とによって形成される角度（以下、「斜辺傾斜角度」という）θ（図５を参照）は、９０°以上とすることが好ましい。摘み用タブ１６の斜辺傾斜角度θを９０°以上とすることで、易切断部１５（ニック止め）箇所を起点として摘み用タブ１６自体が裂けてしまうことを起き難くすることができる。なお、摘み用タブ１６における斜辺傾斜角度θの上限角度は、封緘シール１０の全幅、摘み用タブ先端幅Ｌ２、摘み用タブ基端幅Ｌ３、第２離間距離Ｄ２等の各寸法に基づいて適宜算出すれば良い。なお、封緘シール１０の全幅寸法としては、２０ｍｍが標準的に採用される場合が多い。そこで、封緘シール１０の全幅を２０ｍｍ、摘み用タブ先端幅Ｌ２を５ｍｍ、摘み用タブ１６の両側における各タブ基端縁部Ｅ４の摘み用タブ基端幅Ｌ３を１ｍｍ、第２離間距離Ｄ２を２ｍｍに設定すると、摘み用タブ１６の斜辺傾斜角度θは凡そ１６３°となる。すなわち、摘み用タブ１６の斜辺傾斜角度θは、９０°以上、１６３°以下の範囲で設定しても良く、このような範囲に設定することで摘み用タブ１６の破れ難さと摘み易さのバランスを図ることができる。また、摘み用タブ１６の斜辺傾斜角度θを、１０５°以上１６３°以下の範囲で設定するとより好ましい。また、摘み用タブ１６の斜辺傾斜角度θを、１３０°以上１４０°以下の範囲（１３５±５°の範囲）とすると特に好ましく、摘み用タブ１６の破れ難さと摘み易さのバランスが特に優れている。なお、封緘シール１０の全幅は２０ｍｍに限られないのは勿論である。

[0055] また、本実施形態に係る封緘シール１０によれば、下層封緘シール部１１に対して第１上層シール部１３の摘み用タブ１６を非接着状態とし、摘み用タブ１６に隣接する第２上層シール部１４に対して易切断部１５を介して摘み用タブ１６を局所的に連結するようにした。これによれば、摘み用タブ１６を摘み、引き上げることで易切断部１５を容易に切断することができ、第２上層シール部１４を下層封緘シール部１１と接着された状態に維持した状態で下層封緘シール部１１から第１上層シール部１３を容易に剥離することができる。

[0056] また、本実施形態に係る封緘シール１０によれば、第１上層シール部１３における摘み用タブ１６を台形状とすると共に、第２上層シール部１４の先端側に摘み用タブ１６と相補的な台形状の凹部１７を形成することで、摘み用タブ１６のタブ第１斜辺１６２およびタブ第２斜辺１６３とこれらに対向する凹部１７側の凹部第１斜辺１７２および凹部第２斜辺１７３を、易切断部１５によって連結するようにした。これによれば、第１上層シール部１３における易切断部１５を第１縁部Ｅ１に対して斜め方向に沿って延在させることができる。このように易切断部１５の延在方向を規定することで、摘み用タブ１６を摘み上げた際に作用する引張力の分力が、易切断部１５を切り裂く方向に作用するため、易切断部１５を好適に切り裂くことができると共に、第１上層シール部１３における易切断部１５以外の部分、例えば裏面１３ｂに情報コードが印刷されている領域が切り裂かれてしまうことを抑制できる。なお、第１上層シール部１３における易切断部１５を第１縁部Ｅ１に対して垂直方向に沿って延在させても良く、このように易切断部１５の延在方向を規定することで、摘み用タブ１６を摘み上げた際に易切断部１５のみを好適に切断することができる。

[0057] また、本実施形態に係るパッケージ１によれば、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３にスリット１８ａ，１８ｂを設けるようにしたので、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３および下層封緘シール部１１の下層第３領域１１３を貼り合せることによる紙の反発力を抑制し、折り込みをスムーズにすることができる。また、パッケージ１の正面側における易切断部１５への引張力を緩和し、品質を安定させることができる。なお、スリット１８ａ，１８ｂを、肉眼で視認できない程度の微細な切れ込みとして形成しても良く、これによってパッケージ１の外観品質が低下することを抑制できる。なお、第１上層シール部１３の上層第３領域１３３におけるスリット１８ａ，１８ｂは、第２折り込み線ＬＵ２（第２縁部Ｅ２）の近傍に設けることが好ましい。また、スリット１８ａ，１８ｂは、第２折り込み線ＬＵ２（第２縁部Ｅ２）の近傍であれば、第１上層シール部１３の上

層第１領域１３１に形成されていても良く、下層封緘シール部１１に第１上層シール部１３を貼り合せることによる紙の反発力を低減することができる。ここで、第１上層シール部１３における第２折り込み線ＬＵ２（第２縁部Ｅ２）からスリット１８ａ，１８ｂまでの離間距離（以下、「第３離間距離」という）Ｄ３（図５を参照）は０ｍｍ以上５ｍｍ以下の範囲に設定することが好ましい。

[0058] ここで、第３離間距離Ｄ３が小さいほど、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３および下層封緘シール部１１の下層第３領域１１３を貼り合せることによる紙の反発力を緩和する効果を増大させることができる。第３離間距離Ｄ３を５ｍｍ以内に設定することで、上記紙の反発力を好適に低減することができる。なお、第３離間距離Ｄ３が０ｍｍである場合には、第１上層シール部１３における第２折り込み線ＬＵ２上にスリット１８ａ，１８ｂが形成される場合を意味する。ここで、第３離間距離Ｄ３が小さいほど、上記のように紙の反発力を緩和する効果を増大させることができる反面、消費者が摘み用タブ１６を摘んで第１上層シール部１３をめくった際にスリット１８ａ，１８ｂ位置で第１上層シール部１３に破れが生じ易くなり得る。そこで、第１上層シール部１３における上層第３領域１３３および下層封緘シール部１１の下層第３領域１１３を貼り合せることによる紙の反発力を低減する効果と、使用者が第１上層シール部１３をめくった際の紙の破れにくさのバランスを考慮すると、上記第３離間距離Ｄ３を１．５ｍｍ以上３．０ｍｍ以下の範囲に設定することが特に好ましい。なお、スリット１８ａ，１８ｂは、パッケージ１の上面側（上層第１領域１３１）に設けても良いし、パッケージ１の背面側（上層第３領域１３３）に設けても良い。但し、本実施形態のように、パッケージ１の背面側（上層第３領域１３３）にスリット１８ａ，１８ｂを設けることで、パッケージ１の外観上、スリット１８ａ，１８ｂの存在を消費者に気づかれにくくすることができるという利点がある。また、本実施形態においては、スリット１８ａ，１８ｂを、第２折り込み線ＬＵ２と平行に延設するようにしたので、第１上層シール部１３にお

ける上層第３領域１３３の折り込みによる反発力（復元力）をより一層好適に緩和することができる。

[0059] また、本実施形態におけるパッケージ１によれば、内包箱２および外包箱３が外装フィルム４によって覆われることで密封されており、外装フィルム４に設けられている開封テープ５よりも上方に、封緘シール１０の第１上層シール部１３における摘み用タブ１６を配置するようにした。これによれば、外装フィルム４を引き裂いて開封した際に、第１上層シール部１３の摘み用タブ１６を外部に露出させることができるため、摘み用タブ１６を摘み易くすることができる。また、パッケージ１の未開封時には、パッケージ１全体が外装フィルム４によって覆われているため、封緘シール１０の第１上層シール部１３が不正に剥がれることがない。すなわち、パッケージ１（たばこ商品）を正規に購入していない者が不正に封緘シール１０の第１上層シール部１３を剥がし、例えばキャンペーン等に応募する等の不正行為を規制することができる。

[0060] 以上、本発明の好適な実施形態を説明したが、実施形態に係る封緘シール１０およびパッケージ１は種々の変更、改良、組み合わせ等が可能である。例えば、上述した実施形態では、封緘シール１０における摘み用タブ１６の形状を台形状としているが、他の形状を採用しても良い。図９Ａ～９Ｃに、封緘シール１０における摘み用タブ１６の変形例を示す。図９Ａに示す例では、摘み用タブ１６が台形ではなく、矩形を有している。より詳しくは、図９Ａに示す摘み用タブ１６は、摘み用縁部Ｅ３及びタブ基端縁部Ｅ４が、これらに直交する縦縁部Ｅ５によって接続されている。また、図９Ｂに示す例では摘み用タブ１６が、円弧状の摘み用縁部Ｅ３´を有し、摘み用縁部Ｅ３´の両端にそれぞれタブ基端縁部Ｅ４が接続されている。また、図９Ｃに示す例では、直線状の摘み用縁部Ｅ３とタブ基端縁部Ｅ４が、円弧状の円弧縁部Ｅ６を介して接続されている。また、本実施形態では封緘シール１０における下層封緘シール部１１および上層シール部１２を紙製とする場合を例に説明したが、下層封緘シール部１１および上層シール部１２を高分子素材に

しても良い。封緘シール１０を形成する高分子素材として、ＰＥ（ポリエチレン）、ＰＰ（ポリプロピレン）、ＰＥＴ（ポリエチレンテレフタラート）等が例示できる。また、上記高分子素材と紙の貼り合せ紙や、金属箔と紙の貼り合せ紙によって封緘シール１０を形成しても良い。また、封緘シール１０における下層封緘シール部１１および上層シール部１２の接着に使用する糊（接着剤）は、例えば主材にエチレン酢酸ビニル樹脂系を用いても良い。下層封緘シール部１１に対する上層シール部１２の剥離容易性と、所望しない剥離を抑制する観点から、エチレン酢酸ビニル樹脂系の糊を用いることが好ましいが、これには限定されない。また、本実施形態では、パッケージ１にシガレットを包装する場合を例に説明したが、包装対象物は特に限定されない。例えば、パッケージ１における他の包装対象物として、シガーやシガリロであっても良く、またスヌース等といった無煙たばこや電子たばこであっても良い。また、上述したようなたばこ商品に限られず、たばこ商品ではない包装対象物をパッケージ１によって包装しても良い。

符号の説明

[0061] １・・・パッケージ

２・・・内包箱

３・・・外包箱

４・・・外装フィルム

５・・・開封テープ

１０・・・封緘シール

１１・・・下層封緘シール部

１２・・・上層シール部

１３・・・第１上層シール部

１４・・・第２上層シール部

１５・・・易切断部

１６・・・摘み用タブ

請求の範囲

[請求項1] 包装対象物を包装する包装部と、

前記包装部に取り付けられた２重封緘シールと、

を備え、

前記２重封緘シールは、

前記包装部に接着される下層封緘シール部と、

前記下層封緘シール部上に積層されると共に当該下層封緘シール部に接着される第１上層シール部と、

前記第１上層シール部に設けられた摘み用タブと、

を有するパッケージ。

[請求項2] 前記摘み用タブは直線状の摘み用縁部を有する、請求項１に記載のパッケージ。

[請求項3] 前記摘み用タブは台形状を有する、請求項１又は２に記載のパッケージ。

[請求項4] 前記包装部は箱形状を有すると共に、互いに直交する第１面と第２面とを含んで構成されており、

前記下層封緘シール部は、前記第１面に接着される下層第１領域と前記第２面に接着される下層第２領域とを有する帯体であると共に、前記第１面および前記第２面に跨るようにして前記包装部に接着され、

前記第１上層シール部は、前記下層第１領域に積層される上層第１領域と前記下層第２領域に積層される上層第２領域とを有し、

前記上層第２領域は、前記第１面および前記第２面の間に位置する第１縁部を境に前記下層第２領域に沿うように前記上層第１領域から直交方向に折り込まれており、

前記摘み用タブは、前記上層第２領域の先端側から前記第１縁部と逆方向に向かって突設されている、

請求項１から３の何れか一項に記載のパッケージ。

[請求項5] 前記摘み用タブは、前記第１縁部に近設されている、請求項４に記載のパッケージ。

[請求項6] 前記第１上層シール部において前記摘み用タブの根元に形成される直線状のタブ基端縁部と前記第１縁部とが離間する第１離間距離は、０ｍｍ以上４ｍｍ以下の範囲に設定されている、請求項５に記載のパッケージ。

[請求項7] 前記摘み用タブの先端側に形成された直線状の摘み用縁部と前記タブ基端縁部とが離間する第２離間距離は、１ｍｍ以上３ｍｍ以下の範囲に設定されている、請求項６に記載のパッケージ。

[請求項8] 前記第１上層シール部における前記上層第２領域は、前記下層封緘シール部における前記下層第２領域の一部を覆い、

前記下層第２領域のうち、前記上層第２領域によって覆われていない非被覆領域の少なくとも一部には、前記摘み用タブと隣接するように第２上層シール部が前記下層第２領域に接着されており、

前記上層第２領域の前記摘み用タブは前記下層第２領域に対して非接着状態であると共に、前記摘み用タブと前記第２上層シール部とが易切断部を介して局所的に連結されており、

前記摘み用タブを介して前記第１上層シール部が前記下層封緘シール部から剥離される際に、前記易切断部が切断されることによって前記第２上層シール部が前記下層封緘シール部と接着された状態に維持される、

請求項４から７の何れか一項に記載のパッケージ。

[請求項9] 前記易切断部は、前記第１縁部に対して斜め方向又は垂直方向に沿って延在している、請求項８に記載のパッケージ。

[請求項10] 前記摘み用タブは台形状を有し、

前記第２上層シール部における前記第１上層シール部の先端側との境界部には、前記摘み用タブを受け入れる台形状の凹部が形成されており、

前記易切断部は、前記摘み用タブの斜辺と当該摘み用タブの斜辺と対向する前記凹部側の斜辺を局所的に連結している、請求項８又は９に記載のパッケージ。

[請求項11] 前記第２上層シール部は、前記下層第２領域における前記非被覆領域の全体を覆うように当該非被覆領域に積層されている、

請求項８から１０の何れか一項に記載のパッケージ。

[請求項12] 前記包装部は、前記第１面と直交すると共に前記第２面と平行な第３面を含み、

前記下層封緘シール部は、前記第３面に接着される下層第３領域を更に有すると共に、前記第１面、前記第２面および前記第３面に跨るようにして前記包装部に接着され、

前記第１上層シール部は、前記下層第３領域に積層される上層第３領域を更に有し、

前記上層第３領域に、スリットが設けられている、

請求項４から１１の何れか一項に記載のパッケージ。

[請求項13] 前記上層第３領域における前記スリットは、前記第１面および前記第３面の間に位置する第２縁部と平行に延設されている、請求項１２に記載のパッケージ。

[請求項14] 前記上層第３領域における前記スリットは、前記第２縁部に近設されている、請求項１３に記載のパッケージ。

[請求項15] 前記包装部は外装フィルムによって密封されており、

前記外装フィルムには、前記包装部を周回するように当該包装部に巻き掛けられた開封テープが設けられており、

前記開封テープよりも上方に前記摘み用タブが配置されている、

請求項１から１４の何れか一項に記載のパッケージ。

[請求項16] 前記包装部にたばこ商品が包装されている、請求項１から１５の何れか一項に記載のパッケージ。

[請求項17] 包装対象物を包装する包装部に取り付けられる２重封緘シールであ

って、

前記包装部に接着される下層封緘シール部と、

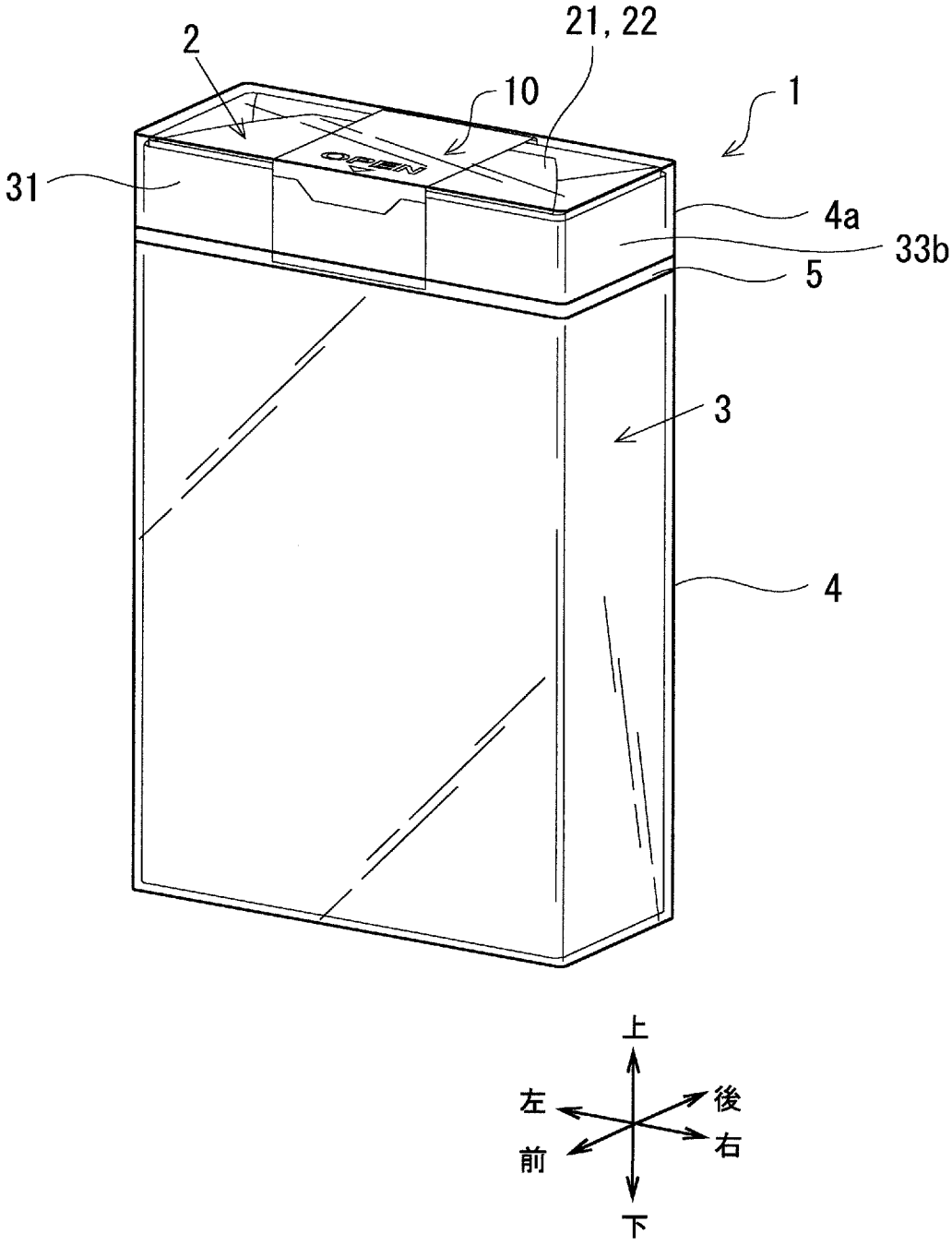
前記下層封緘シール部上に積層されると共に当該下層封緘シール部に接着される第１上層シール部と、

前記第１上層シール部に設けられた摘み用タブと、

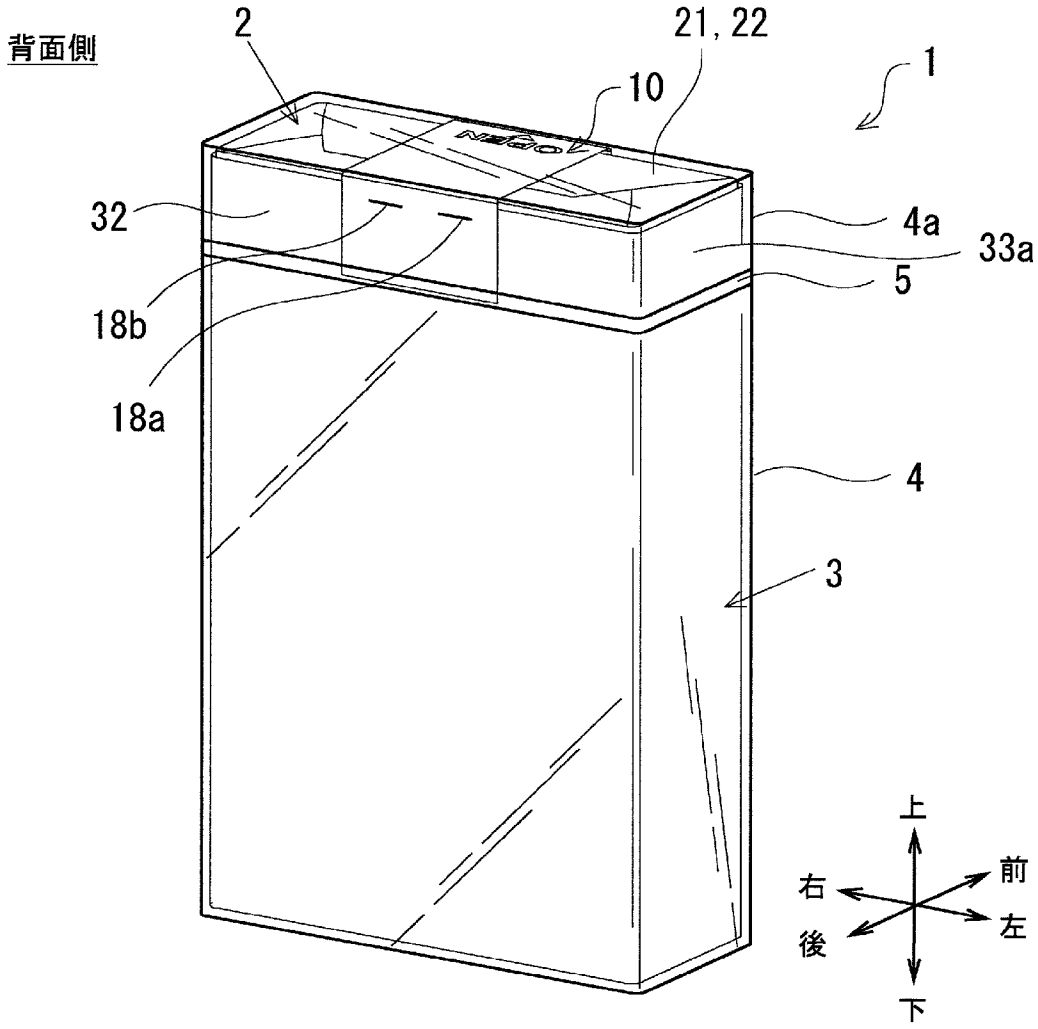
を有する、

２重封緘シール。

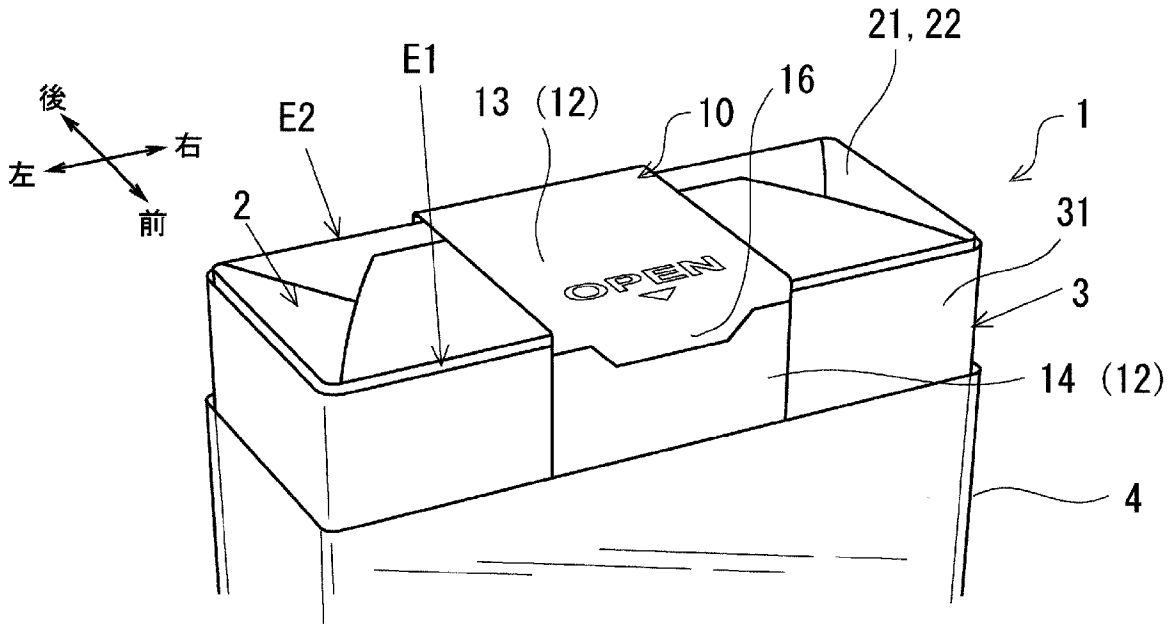
[図1]



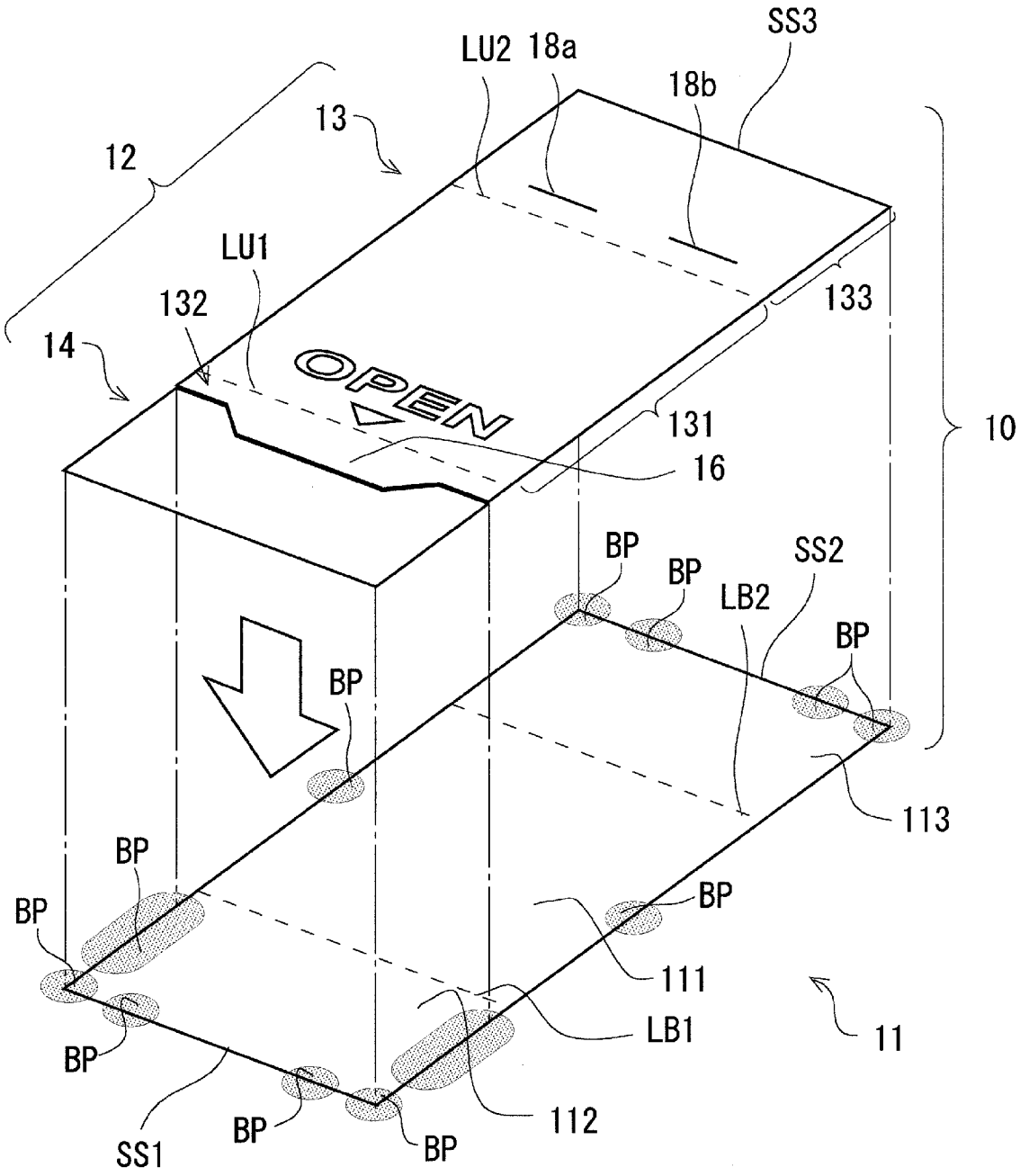
[図2]


背面側
2
21, 22
1
10
32
4a
33a
5
18b
18a
4
3
上
右
前
左
後
下

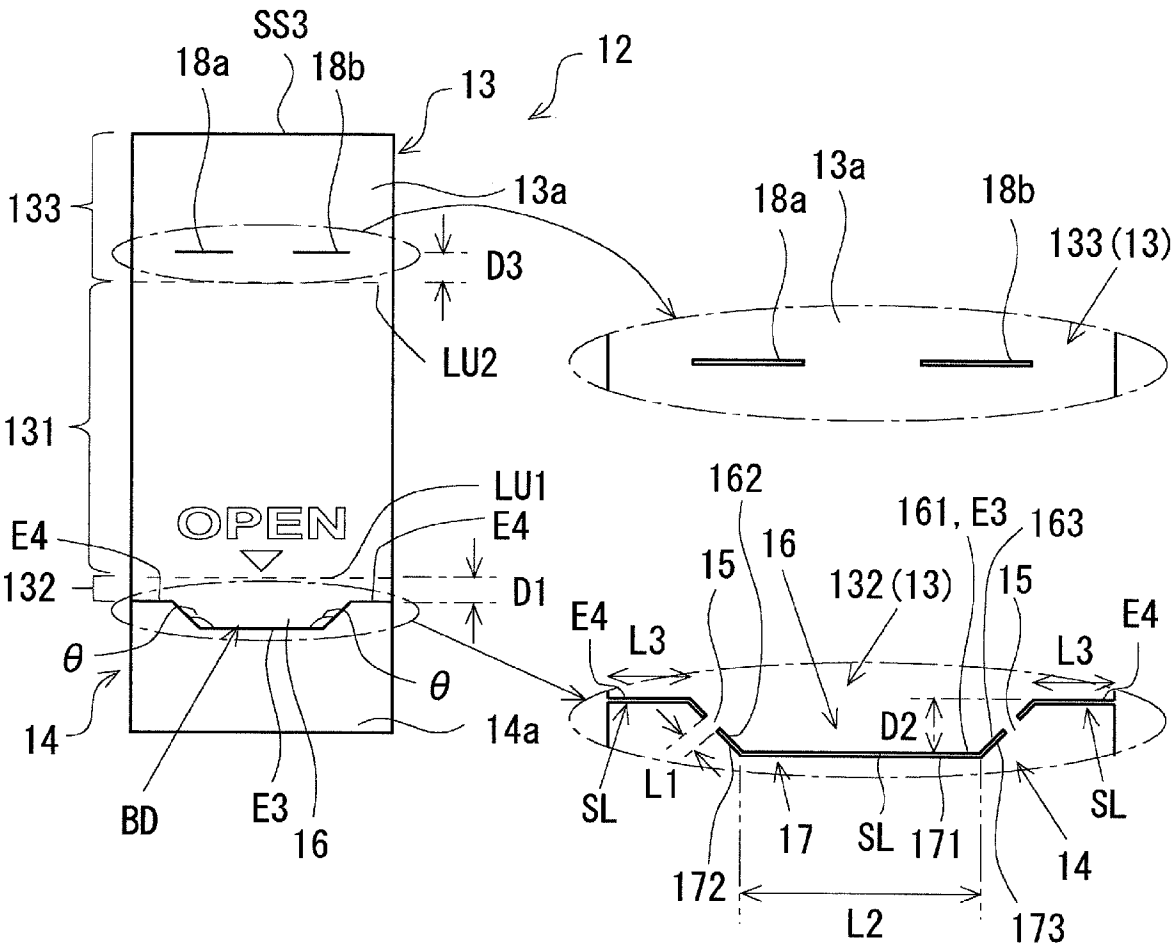
[図3]


後
右
左
前
E1
E2
13 (12)
10
16
21, 22
1
2
31
OPEN
3
14 (12)
4

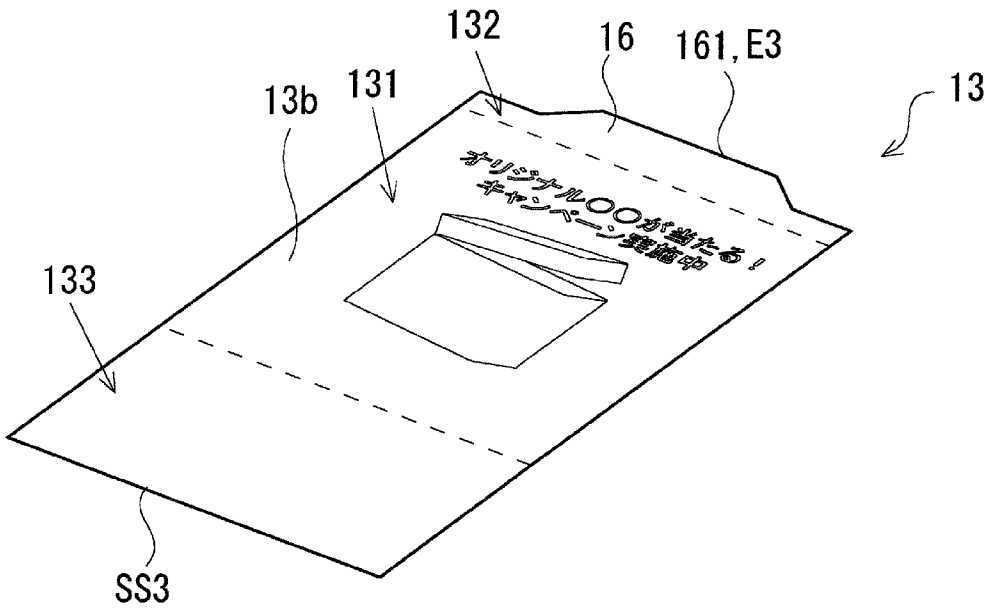
[図4]


SS3
LU2
18a
18b
13
12
LU1
132
133
14
OPEN
131
16
10
BP
BP
SS2
LB2
BP
BP
113
BP
BP
BP
111
LB1
11
BP
112
SS1
BP
BP

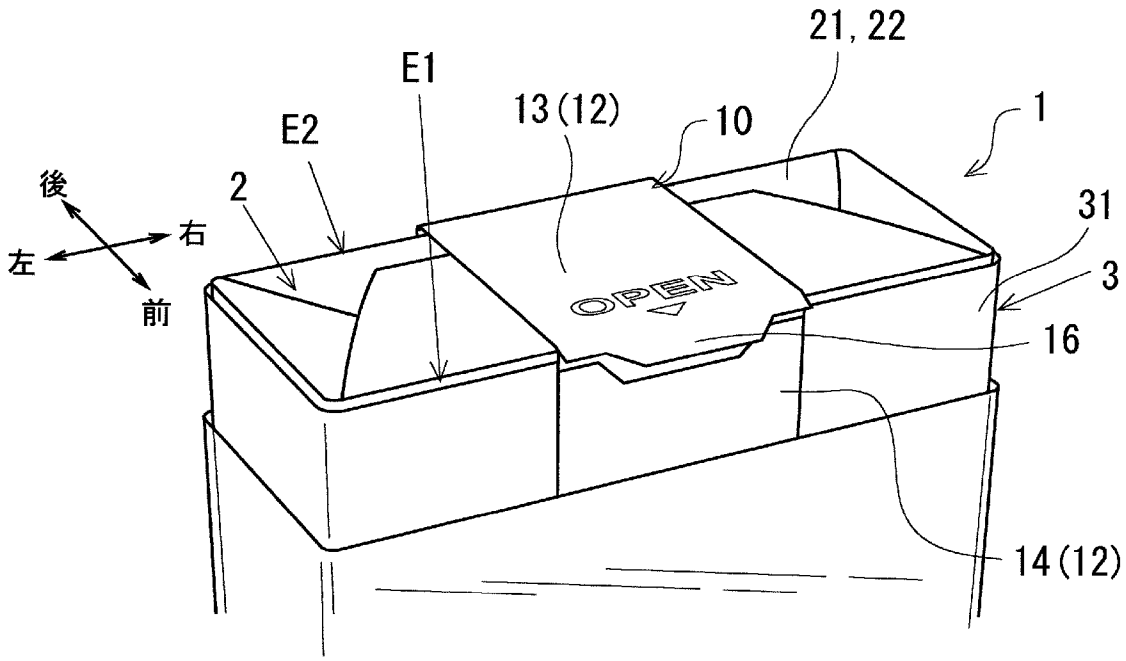
[図5]


SS3
18a
18b
13
12
133
13a
D3
LU2
131
OPEN
LU1
E4
E4
132
D1
θ
θ
14
14a
BD
E3
16
18a
13a
18b
133(13)
162
161, E3
163
15
16
132(13)
15
E4
E4
L3
L3
D2
SL
L1
SL
17
SL
171
14
172
L2
173

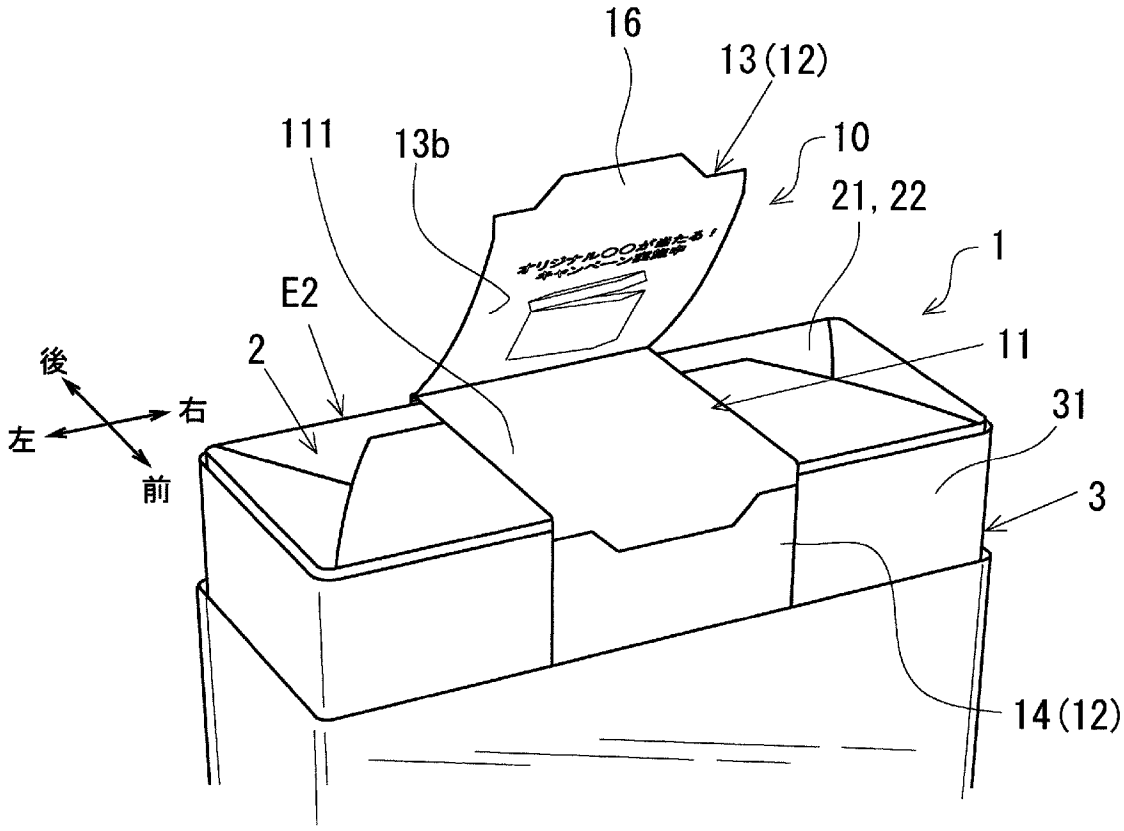
[図6]


132
16
161, E3
13b
131
13
オリジナルOOが当たる！
キャンペーン実施中
133
SS3

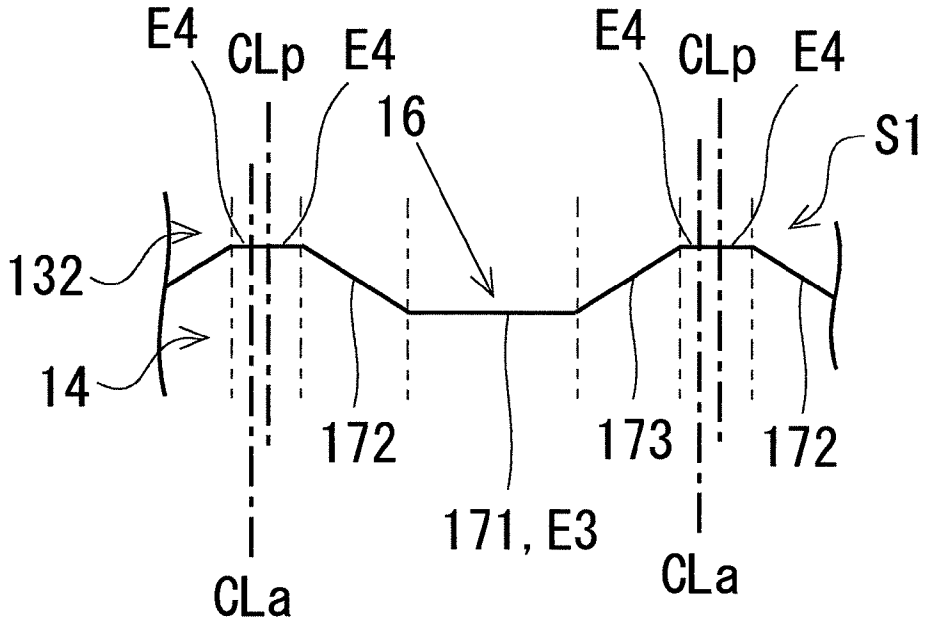
[図7A]


21, 22
E1
13(12)
10
1
E2
2
後
右
左
前
31
3
OPEN
16
14(12)

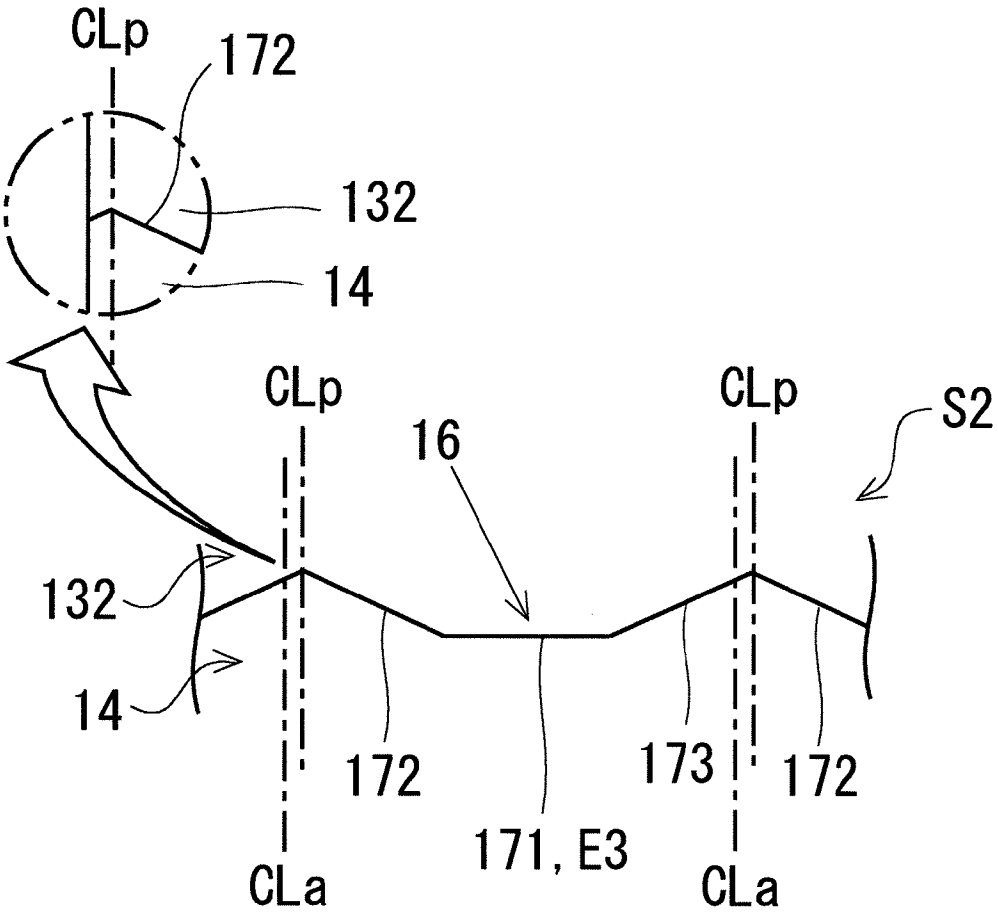
[図7B]


16
13(12)
111
13b
10
21, 22
1
E2
2
後
右
左
前
11
31
3
14(12)

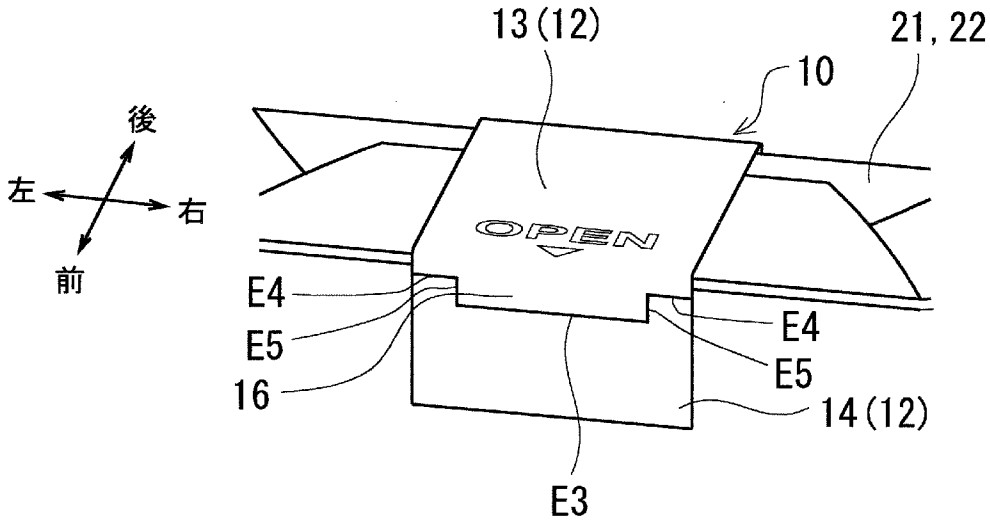
[図8A]


E4
CLp
E4
16
E4
CLp
E4
S1
132
14
172
171, E3
173
172
CLa
CLa

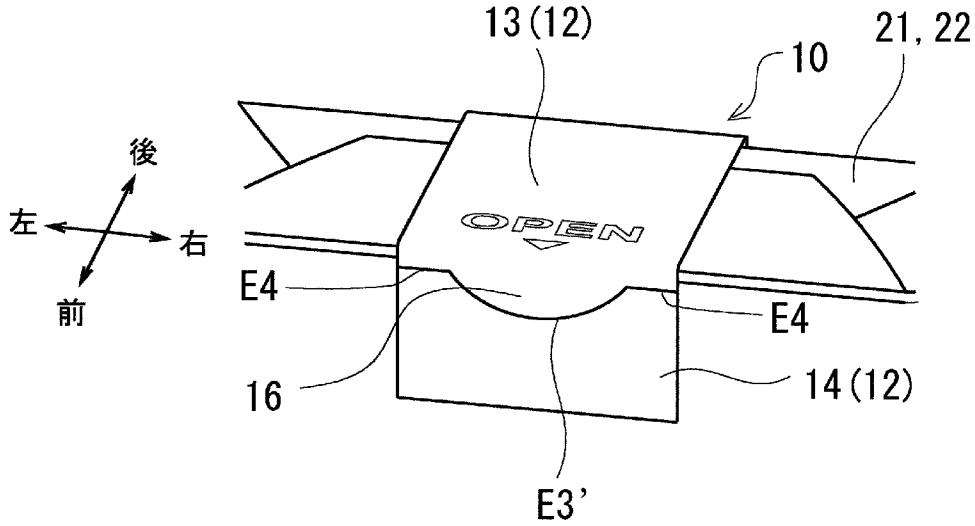
[図8B]


CLp
172
132
14
CLp
16
CLp
S2
132
14
172
171, E3
173
172
CLa
CLa

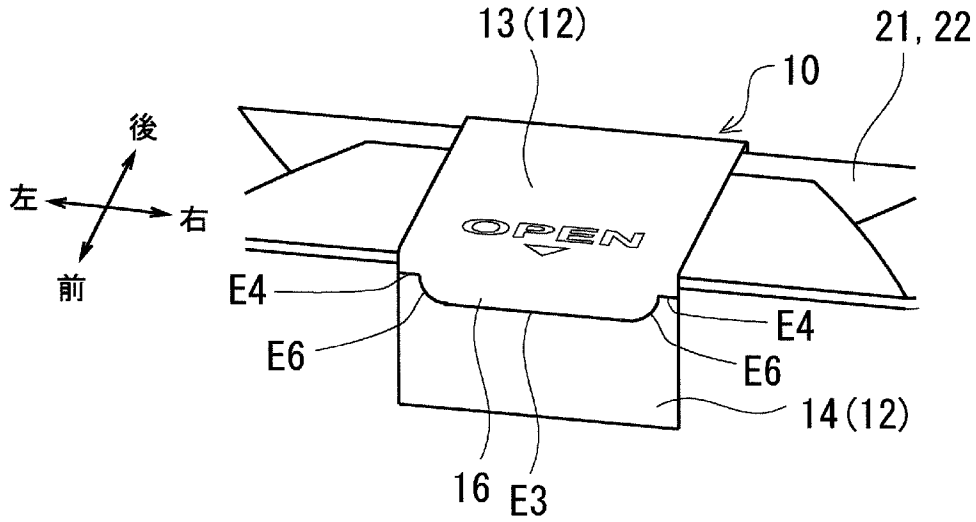
[図9A]


13(12)
21, 22
10
後
左
右
前
OPEN
E4
E5
16
E4
E5
14(12)
E3

[図9B]


13(12)
21, 22
10
後
左
右
前
OPEN
E4
16
E4
14(12)
E3'

[図9C]


13(12)
21, 22
10
後
左
右
前
OPEN
E4
E6
E4
E6
14(12)
16
E3

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2018/012914

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl. B65D85/10(2006.01)i, B65D75/52(2006.01)i, B65D77/04(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl. B65D85/10, B65D75/52, B65D77/04

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2018
Registered utility model specifications of Japan	1996-2018
Published registered utility model applications of Japan	1994-2018

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2001-72045 A (DAIICHI SHOKAI KK) 21 March 2001, paragraphs [0001], [0008]-[0009], [0011], [0018]-[0020], fig. 1-4, 7 (Family: none)	1, 4, 17 1-7, 15-17
Y	JP 9-59572 A (ODA, Shunichi) 04 March 1997, paragraphs [0004]-[0006], fig. 1-2, 4 (Family: none)	1-7, 15-17
Y A	JP 7-203938 A (JAPAN TOBACCO INC.) 08 August 1995, paragraphs [0001], [0008]-[0012], fig. 1-7 (Family: none)	1-7, 15-17 8-14
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 169286/1975 (Laid-open No. 84440/1977)(MARUYAMAEN CO., LTD.) 23 June 1977 (Family: none)	1-17
A	DE 102014009952 A1 (FOCKE & CO. (GMBH & CO. KG)) 07 January 2016 & JP 2017-524616 A & WO 2016/005017 A1 & CN 106573698 A	1-17

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search 17 May 2018 (17.05.2018)	Date of mailing of the international search report 29 May 2018 (29.05.2018)
Name and mailing address of the ISA/ Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Authorized officer Telephone No.

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２０１８／０１２９１４

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　B65D85/10(2006.01)i, B65D75/52(2006.01)i, B65D77/04(2006.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　B65D85/10, B65D75/52, B65D77/04

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０１８年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０１８年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０１８年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
X Y	JP 2001-72045 A (株式会社第一商会) 2001.03.21, 段落[0001],[0008]-[0009],[0011],[0018]-[0020],図 1-4,7 (ファミリーなし)	1,4,17 1-7,15-17
Y	JP 9-59572 A (小田　俊一) 1997.03.04, 段落[0004]-[0006],図 1-2,4 (ファミリーなし)	1-7,15-17
Y A	JP 7-203938 A (日本たばこ産業株式会社) 1995.08.08, 段落[0001],[0008]-[0012],図 1-7 (ファミリーなし)	1-7,15-17 8-14

☑　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。　　☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
１７．０５．２０１８	２９．０５．２０１８

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ）
郵便番号１００－８９１５
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

特許庁審査官（権限のある職員）　３Ｎ　９４３８
植前　津子
電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３３６１

C（続き）．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
A	日本国実用新案登録出願50-169286号(日本国実用新案登録出願公開52-84442号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（株式会社丸山園）1977.06.23,（ファミリーなし）	1-17
A	DE 102014009952 A1 (FOCKE & CO.(GMBH & CO.KG)) 2016.01.07, & JP 2017-524616 A & WO 2016/005017 A1 & CN 106573698 A	1-17